

# あわべに 淡紅 だより

No. 44

2014年9月号

宝塚市議会議員

おしまときこ  
大島淡紅子

## ■ 議員控室

●Tel 0797-71-1141  
代表電話ですが、お気軽に！  
●Fax 0797-74-1810  
●E-mail  
goiken@tgikai.zaqr.s.jp

## ■ 事務所

〒665-0816  
宝塚市平井 1-6-14  
●Tel & Fax 0797-89-4090  
●HP  
http://ayumukai.jp/  
●E-mail  
o-ayumukai@poem.ocn.ne.jp

☆月～金10:00～15:00  
但し、不在のこともございますので、お電話をさせていただいてからお越しください。  
☆事務所のコピー機・印刷機（新機種入りました）ご利用ください。（有料）  
☆事務所をグループ・サークル等の活動にご利用ください。（無料）  
《使用日時は電話でお問い合わせください。》  
☆事務所に教育・平和・食の安全等の本があります。お気軽にご覧ください。



最近の台風の特徴として、1時間で50mm前後の強い雨が降ります。お住まいの地域は大丈夫でしたか。

さて、私はNHK連続テレビ小説「花子とアン」が楽しみ。登場人物のモデルとなった人たちが、魅力的だからです。

主人公・村岡花子は、社会主義活動で特に教育の機会均等を訴えた、父・安中逸平の勧めにより、給費生として東洋英和女学校で教育を受けました。戦争遂行に協力的な姿勢を取ったものの、キリスト教思想のもとに公娼制度の廃止や婦人参政権の獲得運動に積極的に協力し、市川房枝とも交流があったようです。夫・徹三は、夫婦平等を貫き、妻の仕事に協力的でした。（彼の従姉妹は賀川豊彦の妻で、社会運動家のハルです。）

また親友・宮崎輝子（白蓮）は歌人。大正天皇の従妹で伯爵家出身ですが、駆け落ちの末、新聞紙上に絶縁状を載せるなど、大きな話題となります。その後、弁護士として労働運動に打ち込む夫・龍介を支え続け、戦後は平和運動に奔走。彼女の義父は、孫文や蒋介石を援助した革命家・宮崎滔天です。



白蓮と親交のあった竹久夢二をたどって。（竹久夢二美術館にて）



2人の女性が自らの境遇にも負けず、時代に抗い、人生を賭けて守り抜いたもの。それは「人として生きる」権利ではなかったでしょうか。

日本ではまだまだ知られていない「天賦人權思想」は日本国憲法のベースであり、普遍的に家族や社会で活かすことができれば多くの問題が解決できると、私は信じています。それには、やることがいっぱい！ 例え、「ハチドリの一滴」であっても頑張らなくては。希望は「過去」ではなく、「将来」にあるのですから――

## 議公云報告

### 1 主な議案・請願・陳情の審議

・平成26年度一般会計補正予算  
↓全員一致可決

：1億4千690万円減額し、歳入歳出予算の総額を71億3千310万円とする

【主な歳出】NTN株式会社宝塚製作所跡地活用検討事業、情報ネットワークシステム管理事業、地域児童育成会待機児童保育助成事業、道路維持事業の増額

【主な歳入】、国庫支出金では社会保障・税番号制度システム整備費補助金、防災・安全交付金を、県支出金では消費者行政活性化基金補助金を、寄附金では奨学基金に対する寄附金を、繰入金では財政調整基金と引き当り増額。国庫支出金では社会資本整備総合交付金、学校施設環境改善交付金を、繰入金では公共施設等整備保全基金と引き当りしを、市債では市営住宅整備事業債、小学校施設整備事業債、中学校施設整備事業債を、減額度対応システム改修業務委託料を追加



【地方債】市営住宅整備事業債、小学校施設整備事業債、中学校施設整備事業債の限度額を減額

・平成26年度特別会計国民健康保険事業費補正予算↓全員一致可決

：昨年度の事業費で歳入が歳出に対して16億6千万円不足する見込みに対し、今年度の歳入を繰り上げ補充

・市税条例の一部を改正する条例の制定↓可決（共産・大島

：法人税割の税率を14・7%から12・1%に引き下げ、軽自動車税を来年度以降約1.5倍にするなど、市民への負担を増大させる

・子どもの権利サポート委員会条例の制定↓全員一致可決

：要綱で設置している『いじめ及び体罰に係る子どもの人権擁護委員』を変更して、

子どもの権利救済手続きを整備するための条例を制定

・再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例の制定↓可決（太

誠・伊藤・大河内・藤本

：基本理念や三者（市民・事業者・市）

の役割などを定めて、再生可能エネルギー





子どもの権利サポート委員会と  
同じく、子ども条例の理念に基  
づく子ども議会

ギ―事業のあり方を明確に。同時に、  
三者が協働で推進を図れば、持続可能  
なまちづくりに寄与できる。また、宝  
塚市再生可能エネルギー基金条例の  
一部を改正することで、事業の財源と  
する

・損害賠償の額の決定↓全員一致可決  
：市立病院での医療事故について、市  
職員の過失による損害賠償の額を300  
万円と決定。再発防止について（看護  
職員の待遇や医療事故防止マニユアル  
の改訂、事故後の職員へのメンタル  
ヘルスケア対応など）や解決金100万  
円の金銭的な根拠などが質疑された  
・財産（塵芥収集車（3.5トン積機  
械車）及びミニダンプ車）の取得↓全  
員一致可決

：今後需要拡大が予想される、きずな  
収集への対応のため、4t積み機械車  
2台を下取りに出し、3.5tを2台と  
ミニダンプを1千589万8千70円で、  
新明和工業（株）から取得

・『特定秘密の保護に関する法律』の  
廃止を求める意見書』提出を求める請  
願↓不採択賛 共産・井上・北野・大島  
棄権 寺本

：情報公開を進める民主的行政に反  
し、市民の知る権利の侵害・表現活動  
の萎縮を招く

・豊かな教育を実現するための義務教  
育費国庫負担制度の堅持を求める請  
願↓全員一致採択

：「義務教育費国庫負担制度を堅持す  
る意見書」を提出、少人数学級の推進  
や、学校現場に必要な教職員の人員・  
人材確保可能な財源措置を訴える

・手話言語法制定を求める意見書の提  
出を求める請願↓全員一致採択

：手話は言語であることを

国民に広め、「手話言語法  
（仮称）」の制定を求める

・子ども・子育て支援新制度  
に関する請願↓不採択賛 共  
産・ユニット・大島

：保育の現行水準を維持・改善し、条  
例等に反映。小規模保育事業の認可条  
件はすべて保育士資格者に。学童保育  
の計画策定では量と質を確保。新制度  
の性急な導入、実施をしない。このよ  
うな意見を、国に提出するよう求めた。



・辞職勧告決議を受けた議員に、反省  
を促す具体策を検討するよう議会に  
求める陳情↓全員一致趣旨採択

：議会ごとに、議長から具体策を要請

・北山照昭議長に対する不信任決議に  
ついて↓可決 反 宝結・新風 除 斥 北山  
：人事に関与しないことを議員で定  
めた政治倫理条例に反するため

## 2 一般質問

1 認知症になっても、当たり前で暮  
らせる宝塚に

Q 認知症の進行を防ぐための対策は

A 啓発リーフの配付や正しい知識習  
得の取組みを行っている

Q 認知症の方が地域で暮らすための  
施策は

A 認知症サポーター養成講座、たから  
づか地域見守り隊など

Q 介護する家族を支える施策は

A 6か所の地域包括支援センターに  
認知症地域支援推進員を配置。GPS

端末装置のレンタル。警察署は宝塚排  
徊シルバーSOSネットワークシス  
テムを展開

この春、認知症の91歳男性が徘徊  
の末、電車にはねられ死亡した事故を  
めぐり、名古屋高裁は「JRの監視不  
十分ではあるが、見守りを怠った」と  
して、妻に359万円の支払いを命じま  
した。しかし妻自身も「要  
介護1」。いわゆる老々介  
護でした。



以前、私の所属する認知症家族会で  
も、認知症の夫は翌日遠隔地で発見さ  
れたと聞きました。昨市内でも認知  
症の疑いがある方の搜索願は65件  
（警察のシステム利用以外）。  
NHKニュースによると、認知症や  
その疑いで年間約1万人が行方不明  
になり、そのうち約350人が死亡され  
ています。また、この8年余りの間に  
少なくとも認知症による鉄道事故は  
76件。64人が死亡しています。  
このような認知症の増大に対して、  
国は施設介護では限界があるとし、今  
後在宅介護を拡充する方向性を打ち  
出しています。介護保険制度導入当初  
にめざしていた「介護の社会化」を、  
再び家族の負担を増大する方向に逆  
戻りさせるのです。遅ればせながら厚  
生労働省は、ようやく徘徊や不明者数  
の実態調査を地方に依頼しました。  
認知症は、「誰にでも可能性がある」  
「24時間目を離さないのは不可能」。  
それなら徘徊しても大丈夫な環境作  
りが肝要です。  
具体的に、1つ目はハード面。安全  
確保・危険回避、道路や河川の整備、  
前述の機器貸与や警察との連携が必  
要です。2つ目には「認知症の人の気  
持ちを理解し、見守る眼を増やす」こ  
と。特に子どもたちの理解が大切。福  
岡県大牟田市で実証されています。昨  
年度宝塚市でも、認知症キャラバンメ  
イトによる福祉教育を小学校高学年  
に実施、563人が受けました。「ヘルパ  
ー養成の視点」でなく、「当事者の気



さらに、認知症発症を防ぐことも必要です。認知症前の状態、軽度認知障害（MCI）をご存知でしょうか。

鳥取県琴浦町や埼玉県和光市では M C I の方を見つけ、予防教室や相談に力を注ぎ、特に琴浦町（人口 1・8 万人、高齢化率 31％）は 10 年前から取組んだ結果、事業の効果額は年 2 千 361 万円。宝塚市でも研究するよう要望しました。また、警察に市の認知症の事業を御案内し、研修されては、と提案しました。



認知症サポーター養成講座での指導役、認知症キャラバンメイトのみなさん。迫真のロールプレイも。市内で20数名が活動



## 2. 市の官製ワーキングプアについて

**Q** 官製ワーキングプアを生み出し続けていくことに関する見解は

**【A】**非正規職員3割超の現状は、適正配置の検討を要する

## A 賃金水準は阪神・国の動向を注視し 引き続き改善に取り組む

市と比較し普通会計職員数では、本市は221人（16・8％）少ない」と指摘されています。

市は、正規職員の代替として臨時的任用職員を配置しているのではないと云いながら正規職員を削減し、仕事量増に従って、非正規雇用職員を



雇い続け、気付けば3割を超えています。特に、教育委員会は専門職が非正規職員となり、全国でも高学歴官製ワーキングプアの温床となっています。

そもそも仕事の内容が同じなら、労働単価は同じでなければ。この過度の格差は「労働者の無知」にも原因があります。「ブラックバイト」が問題となるのも、労働教育が行き届いていないからと考え、大阪府立西成高校の副読本をご紹介します。

また市の業務委託に関しては、特に市庁舎総合管理は総合評価方式を採用しました。考え方は間違っていないせ  
んし、適正な賃金の確認―「年に一度現場での帳簿との照合調査」など、新たな取り組みもしています。しかし、現状は、市の5年の長期継続契約に対し、最短2か月契約の職員がいるなど取り組みが無意味になる行為が見られます。さらに、年末の給与が年明け

まで遅延される、就業規則がかなり遅れて配布されるなど、労基法違反ともいえる行為も見られます。また、市民従業員ゼロ・市内業者からの仕入れも少なく、会社の住所地を評価項目にも入れていません。評価項目の追加やチェックできる仕組みが必要です。

昨年の放火事件も、土日に発生したなら全て業者の対応でした。責任を取り切れるとは思えません。本当に委託が良いのか原点に返って考える必要があります。委託と直営の比較を、部長も知らないくらい前におこなったきりなので、改めて精査するよう要望しました。

### 3. 市の平和主義について

**Q** 兵庫県合同防災訓練に在日米軍参加となった経緯

**A** マグニチュード8.9の南海トラフ地震を想定し、県民局単位で毎年実施。県単独の災害対応は極めて困難と判断、参加要請した。今後、具体的効果や問題点の検証・説明を求める

**Q** トライやる・ウィークの受入先とし

て「自衛隊」に依頼したことの是非

**A** 前年度の生徒の希望があり、生徒の主体性を高める体験ができる

自衛隊法 83 条「知事などからの要請を原則とする」に基づく自衛隊災害派遣は、94 条で「職員や警察官・海上保安官がその場にいない場合」と

自衛官の権限が規定されています。しかし、米軍の扱いに関しては市も根拠法は無いと認めています。法令順守義務のある自治体職員が、軍隊と協力して法で定められてもいない、実施計画もない、その場しのぎの訓練に参加することは、法定外だけでなく憲法の平等主義に抵触しないのでしょうか。自治体からも参加中止を求める要請書が、市に提出されました。

それだけでなく、米国内で多くの事故を起こし、欠陥機と言われているオースプレイも知事は参加要請しており、阪神間の過密地域に飛来するところでした。国立国会図書館・外交防衛課の鈴木滋氏も「米軍の大規模な救援活動は、外交・軍事戦略上のパフォーマンス」と位置づけています。

私は芦屋市の前田市議と連絡を取り、阪神間の自治体議員に呼びかけ、兵庫県知事と宝塚市長に、有志で申し入れを行いました。

近隣では伊丹市と川西市が自衛隊での職場体験活動を行っています。宝塚市では今年2校が参加しました。



タ―。米軍参加の気配が無いのは：



## 早苗田の会

杉山鮎水 選

- 六月
- (特選) 静けさをするする破り大百足虫  
純子 峯子
- ◇ 梅雨晴間象は御座り特訓中  
純子 峯子
- ◇ 母愛し又我も着る麻衣  
純子 峯子
- 七月
- (特選) 巻軸をさらりと拡げ夏座敷  
純子 峯子
- ◇ かいつむり浮き巣作りし野分あと  
純子 峯子
- ◇ 苦瓜の蔓は夕風捕えけり  
純子 峯子

『専守防衛』とはいえ、自衛隊は「戦闘に備える」、すなわち「殺傷」を目的とする訓練を日常的に行う業務です。ビジネスマナー・救急法・ロープ訓練など警察や消防と同様の職業体験でしたが、実際は両者と全く性質の違う業務内容です。事前学習も、通一遍の指導だけ。護衛艦「たちかぜ」いじめ自死事件だけでなく、今年も海上自衛隊で同様の事件がありました。戦前の軍隊の「新兵いじめ」に通じる体質があるのでしょうか。

今回の質問の意図は、戦後守られてきた平和主義が崖っぷちにある現状の中、一つ崩れれば、いとも容易く一線を越えることに警鐘を鳴らすことにあります。戦争のプロである軍隊に協力すること。事前学習もないまま、子どもを戦闘情報がそこかしこにある自衛隊駐屯地に送り出すこと……これまで知事や教育者が「敢えて」しなかったことに踏み込んでしまったその是非は、歴史が答を出すでしょうが、私には受け入れられません。



宝塚市が作ろうとしている、子どもの権利救済機関。札幌市にて



札幌市役所ロビーにある店舗。以前に議会で質問・提案したものが実際に

## 文教生活 常任委員会視察

市議として得たものを宝塚市政に反映するよう、日々奔走しています。

### ● 北海道石狩市

#### (1) 石狩市手話基本条例について

#### (2) 手話の普及啓発に関する取り組みについて

「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願」が採択され、地方議会から国へ初めて意見書が提出されました。市長の主導、検討会に提言を求めて作成された条例は、以下を明記しています。

- ① 言語である手話を使って、心豊かに暮らすというまちづくりの理念
- ② 言語である手話を、市民が使いやすい環境をつくることは、自治体の責務
- ③ 「手話により意思を伝えあう」ことは、尊重すべき権利



この背景には「障害は社会によりつくられた問題」との視点があり、条例制定前から市では、(Ⅰ)民間団体に手話通訳者や要約筆記者を派遣する費用は市が負担する(Ⅱ)手話についての出前講座の講師は聴覚障害者が務めるといった取り組みをしていました。

委員会が市に意見を提案したといった経緯があります。また権利救済機関は5年前に開設。年100件の相談業務だけでなく、「子どもの意見表明・参加の促進」に力を入れ、政策に子どもの意見を募集・反映してきました。また、支援するおとなを育てる、中学校ではピアサポート(同じような立場の人によるサポート)を学ぶなどの取組みで、昨年は「自分が好き」という子が65.4%で、5年前より12.2%増加。宝塚市でも採用したい取り組みです。

## 議員研修会

防災研修として、①市防災事務の変遷 ②災害対応の現状と課題 ③地域の取組み に関する各講義と、南海トラフ巨大地震に備えるワークショップを行いました。

議会に関しては『質問力』からはじめる議会改革」と題した講義とワークショップを開催しました。

## 政策研究会

私は「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる宝塚づくり」研究会に所属しています。

これは国連で採択された障がい者の権利に関する条約の理念を踏まえた、障がいを理由とするいかなる差別もない社会の実現をめざすため、条例案策定や政策提言について研究するものです。

現在、政策提言に向けて、関連施設の見学、市・社会福祉協議会の各職員の意見を聴く、学識の方の講義など研修段階です。

### ● 北海道札幌市

#### (1) 子どもの最善の利益を実現するための権利条例について

#### (2) 子どもの権利救済機関「子どもアシストセンター」について(施設見学を含む)

#### (3) 札幌市児童福祉総合センターについて

「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」に注目してきました。検討段階から高校生委員を入れ、条例策定中には「権利」などを議論、子どもだけの

